

様式第 3 号(第 12 条関係)

審議会等の会議の記録

会議の名称	第 1 回伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会
開催日時	令和 7 年 8 月 2 9 日（金） 1 3 時 3 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分
開催場所	伊勢崎市役所 東館 3 階 災害対策室
出席者氏名	〔委員〕 熊倉委員長、前田副委員長、赤木委員、須藤委員、南雲委員、 茂木委員、荻野委員、栗田委員、中田委員 〔事務局〕 柳澤上下水道局長、土屋総務課長、 後藤上水道整備課長、中山浄水課長、 上山上水道計画係長、糸井総務係長、小保方経理係長、 三上経理係長、南波料金係長、佐藤主査、根岸主査
傍聴人数	1 名
会議の議題	・ 現行の伊勢崎市水道事業経営戦略（伊勢崎市水道事業ビジョン）及び令和 6 年度までの実績について
会議資料の内容	・ 次第 ・ 伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会 委員名簿 ・ 伊勢崎市水道事業経営戦略（伊勢崎市水道事業ビジョン） ・ 席次表 ・ 資料 1 「伊勢崎市水道事業経営戦略等検討委員会設置要綱」 ・ 資料 2 「伊勢崎市水道事業経営戦略（伊勢崎市水道ビジョン） 【概要版】」 ・ 資料 3 「令和 6 年度までの実績について」

会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及び発言の要旨	【委嘱状交付式】 1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 閉会 【第1回検討委員会】 1 開会 2 委員・事務局紹介 3 委員長及び副委員長の選任 委員長に熊倉委員、副委員長に前田委員が選任された。 4 議 題 ・現行の伊勢崎市水道事業経営戦略（水道事業ビジョン）及び令和6年度までの実績についてについて 事務局から資料2及び資料3に基づき説明があった。 【質問・意見】 委員長：事務局の説明によると、今後単価がどうなるかは不透明だが、県から購入している水の単価が計画よりも安くなったことで費用が抑えられ、また、給水人口が計画よりも減らず、給水収益の減少幅も少なかったため、令和6年度の水道料金改定において、10%を予定していた改定率を7.2%に抑えることができた。 改定率が抑えられたことで、今の計画では令和10年度に10%の改定が予定されているが、その通り進めるという理解を得るのは大変かもしれない。人口については他市に比べて減っていないことや外国籍の方が増えていること、環境については水の利用状況や気温上昇を踏まえて利用者の理解を得る努力をしていく必要がある。 委員：伊勢崎市の水道料金は他の自治体と比べてどのような位置にあるのか。 事務局：伊勢崎市の水道料金は、県内の他の自治体と比べると半分より上の水準にある。伊勢崎市は複数回に分けて改定を行っているが、改定を行った時期が他の自治体
--	--

よりも早かったことも理由としてあげられる。他の自治体では一気に20%や30%の大幅な料金改定を行うケースもある。

委員長：令和6年度、令和7年度において伊勢崎市の料金水準が県内12市の中でどのような位置にあるかを示してほしい。

事務局：了解

委員：計画はしっかり作られていると感じる。地震や風水害に対応するように国等から示唆されており、計画にまだ含まれていない場合は盛り込むとなると費用が増加する可能性があるので費用を削減できるところはしていく必要がある。

委員長：今後、費用が増加する要因と努力して費用を減らした中で料金改定率を示すことが議会や水道利用者に説明していく上では必要だろう。

副委員長：金利について、マイナス金利から金利がある状況になった。前回の検討委員会時では、金利が低い時期には過度な企業債の抑制はせず、資金の流動性を確保したほうがよいという意見を申し上げた。金利の上昇は財政負担の増加につながるので前回とは状況が異なっている。

専門家の意見としては、経営戦略上の投資や財政計画は厳しめに設定し、実績で費用が上振れしても何事もなく順調に推移したということで、甘く設定し緊急事態に対応できない方がよろしくないと考えている。

物価高騰がある中で納得感を得られるように今後の検討委員会を進めていく必要がある。管路の整備状況と水道料金を加味したデータを他の自治体と比較することで納得を得られるのではないかな。